

⑬ 日本国特許庁 (JP) ⑭ 特許出願公開  
⑯ 公開特許公報 (A) 昭59-136125

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 01 F 5/24

識別記号

庁内整理番号  
6639-4G

⑰ 公開 昭和59年(1984)8月4日

発明の数 1  
審査請求 有

(全 3 頁)

⑱ 落下積層式粉粒体連続混合方法

豊中市北緑丘1-2-6-306

⑲ 特 願 昭58-12042

⑳ 出 願 人 福屋裕之

㉑ 出 願 昭58(1983)1月27日

豊中市北緑丘1-2-6-306

㉒ 発 明 者 福屋裕之

㉓ 代 理 人 弁理士 中村稔 外4名

明 細 書

1. 発明の名称 落下積層式粉粒体連続混合方法  
2. 特許請求の範囲

搬送装置上に、その長さ方向に配置され、搬送装置の巾方向に延びる複数個の放出ヘッドを設け、粉粒体を、これを受容する貯槽から流動状態で前記放出ヘッドを通して、前記搬送装置上に放出させ、前記搬送装置の上流に放出され、搬送装置によつて運ばれる粉粒体層上に順次粉粒体を層状に積層させることを特徴とする粉粒体の連続混合方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は搬送装置上に2種類以上の粉粒体を積下積層させて連続的に混合する方法に関する。

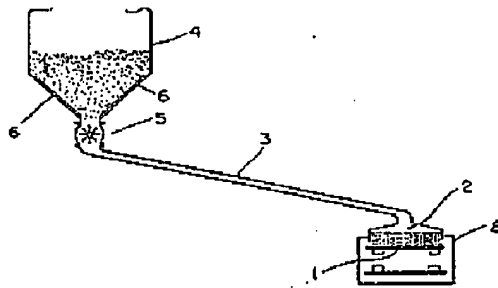
2種類以上の粉粒体を均一に混合する場合、通常は被混合物を一定の容器に入れて各種方法例えば攪拌機を回転させるか、容器自体を回転させるかして攪拌する方法が採られている。混合を連続的に行う場合にも攪拌容器の一方より被混合物を供給し容器の中で攪拌を行い他方から排出するのが通常である。然しこの様な攪拌をとらなかつた混合方式は、大きな動力が必要ばかりでなく混合しよとする粉粒体の比重・粒度が異なるときは逆に分離作用が働く場合もあつて十分な混合は非常に難しい。

本発明は被混合物を攪拌することなく連続的に混合出来る方法を提供するものである。

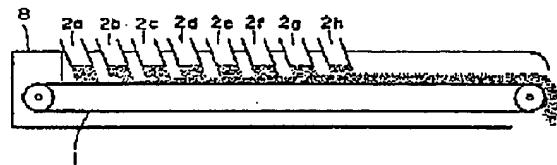
本発明によれば、この方法は、搬送装置上にその長さ方向に配置され、搬送装置の巾方向に延び設け、粉粒体を、これを受容する貯槽から流動状態で前記放出ヘッドを通して、前記搬送装置上に放出させ、前記搬送装置の上流に放出され、搬

特開昭59-136125 (3)

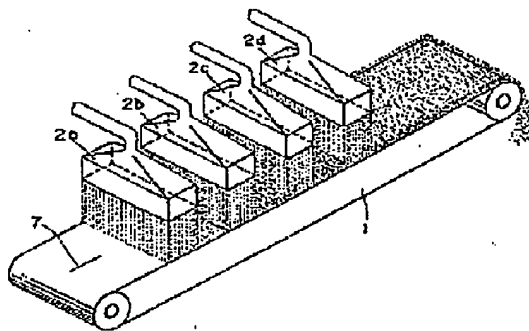
第1図



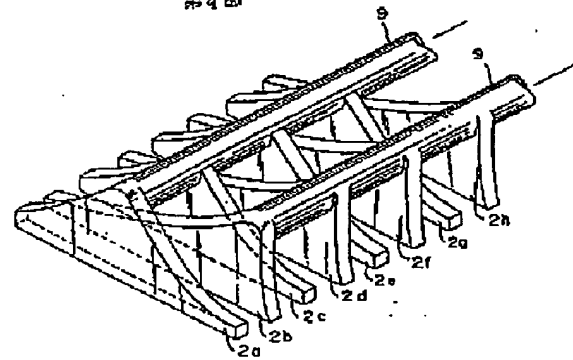
第3図



第2図



第4図



第5図

